

## 税制抜本改革について

平成20年11月28日

岩田 一 政  
張 富 士 夫  
三 村 明 夫  
吉 川 洋

税制抜本改革の全体像においては、「何のための税制抜本改革なのか」、「どういった道筋で進めていくのか」について、国民にわかりやすく提示すべきである。

### 1. 基本理念

税制抜本改革においては、現在の日本がおかれている状況にかんがみ、以下の3つを基本理念として進めていく必要がある。

- ・ 国民の目線からみて、政府が取り組まねばならない最重要なテーマは持続可能性、安心が確保された社会保障制度の構築である。
- ・ 家計部門をみると、格差問題が深刻化する中、公平性の確保が問題となっており、政府の持つ所得再分配機能の強化が急務になっている。
- ・ 企業部門については、「全治3年」の後、日本経済が再び大きな飛躍を実現していくため、激変する経済環境に適応しながら経済活力・成長力強化（国際競争力強化含む）に向けた努力を続ける必要がある。

### 2. 基本理念を実現するための税制抜本改革のポイント

#### (1) 持続可能性、安心が確保された社会保障制度の構築

消費税を軸に、安定財源を確保することが重要である。その際

- ・ 社会保障に係る負担は、それが給付として国民に確実に戻ってくる仕組みとする。
- ・ 消費税の逆進性の問題は、社会保障給付に充てられることにより、全体としては所得再分配が強化される(別紙参照)

#### (2) 政府の所得再分配機能の強化

所得再分配機能の強化、格差固定化の防止等が重要である。このため、

- ・ 所得面での各種控除と税率構造を見直すほか、低所得者に配慮する。併せて、納税者番号制度や、それを前提としたいわゆる給付付き税額控除の考え方について検討する。
- ・ 格差固定化の防止等の観点から、資産課税を見直す

(3) 経済活力・成長力強化

国際競争力強化、雇用の確保等の観点から、諸外国の中でも高い水準にあるわが国の法人実効税率の引下げ、課税ベースの拡大を進める

3. 税制抜本改革の原則

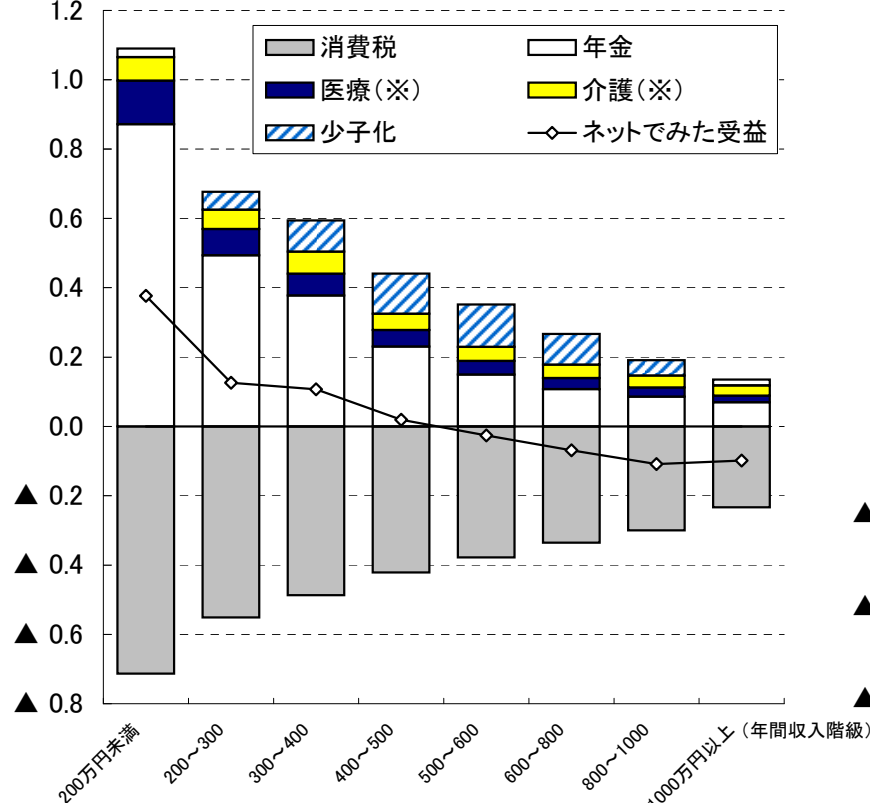
税制抜本改革の実効性確保を図るために、全体像においては、以下の原則について明らかにする必要がある。

- ・ 原則1：税制抜本改革の実現のためには不断の行革の推進と歳出規律の維持を大前提とする。
- ・ 原則2：多年度の減税・増税を一体的に法定し、実施時期を明示しつつ、段階的に実行する。
- ・ 原則3：国民の負担増は、社会保障給付に充てることにより、すべて国民に還元し、官の肥大化には使わせない。

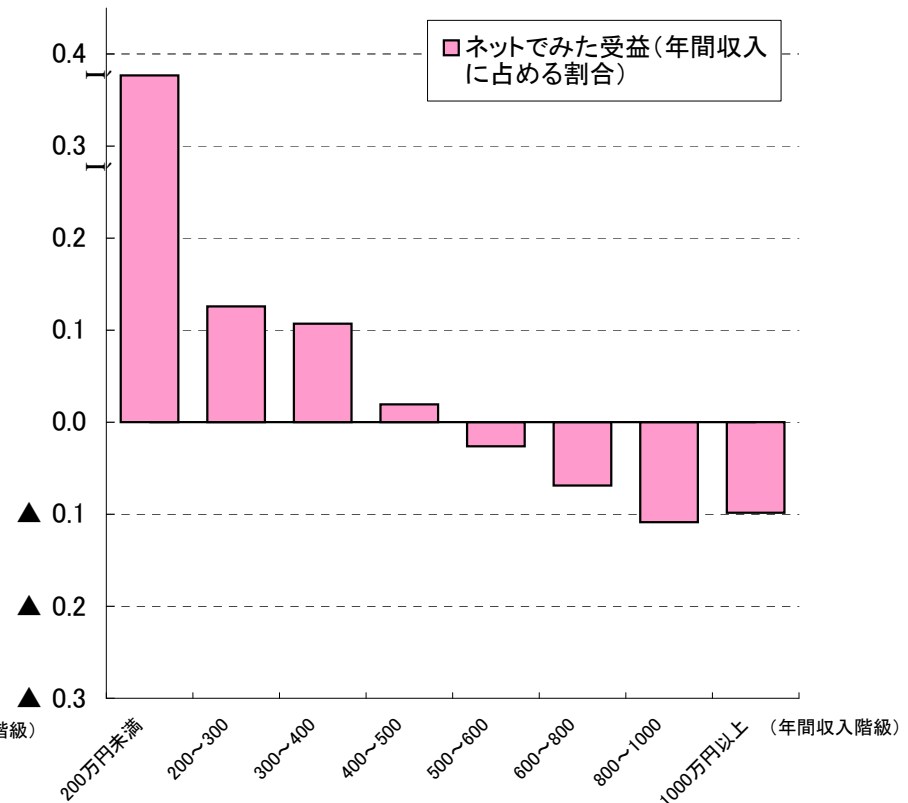
仮に社会保障1兆円分を消費税でまかなう場合、1世帯あたりの社会保障の受益と消費税の負担についての試算(粗い試算)  
 ~社会保障目的の消費税増税により所得再分配は強化される~

○消費税負担の所得比は収入が低い世帯ほど大きい一方で、社会保障受益の所得比は収入が低い世帯ほど手厚い。  
 ○ネットでみた受益は、所得の高い世帯には負担超となるが、所得の低い世帯では受益超となり、所得再分配機能が働いている。

(年間収入に占める割合、%)



(年間収入に占める割合、%)



平均世帯人員数 (1.4) (1.7) (2.1) (2.5) (2.8) (3.1) (3.4) (3.6) 平均世帯人員数 (1.4) (1.7) (2.1) (2.5) (2.8) (3.1) (3.4) (3.6)

- (注1) 1兆円の各社会保障への配分は、社会保障国民会議「社会保障の機能強化のための追加所要額(試算)」における2015年度の各社会保障の公費負担の割合に従った(年金:約0.5兆円、医療:約0.1兆円、介護:約0.2兆円、少子化:約0.2兆円)。なお、現行制度の安定化1兆円分を消費税増税でまかなう場合には、制度の崩壊を防ぎ自己負担の引き上げがなくなる等の形で、将来時点で国民に還元される。
- (注2) 以下の項目について、年間収入階級別に各項目で示す指標に基づき比例配分。  
 ①消費税:課税対象消費支出額、②年金:65歳以上人口、③医療:65歳以上・65歳未満の1人あたり医療費及びその人口、④介護:要介護認定者のいる世帯数、⑤少子化:子供の数
- (※) 本試算のベースとして用いた全国消費実態調査は、単身世帯に病院及び診療所の入院患者や介護施設の入所者等を含まない。このため、単身世帯の多い低収入階級では、医療の受益が過小(世帯人員の多い高収入階級に過大)となっている可能性あり。介護の受益についても、施設サービスを除く居宅サービス分(介護公費負担分の約54%)のみを計上しており、単身世帯の多い低収入階級で過小となっている可能性あり。
- (資料) 平成16年全国消費実態調査(総務省)、平成17年国勢調査(総務省)、他。

## 税制改革の背景

少子高齢化の進展、グローバル化等の経済・社会の構造変化を踏まえ、以下の3つの課題への対応が必要。

- 社会保障の安定財源確保
- いわゆる格差問題
- 成長力の強化

## 税制改革の視点

「公平・中立・簡素」の基本原則を踏まえつつ、以下の3つの視点から改革が必要。

### (1) 国民の安心を支える税制

- 社会保障制度を皆で支え合うため、安定的な歳入構造の確立が必要。
- そのための財源として、消費税が重要な役割を果たすべき。
- 再分配の問題は、社会保障が主要な役割を担いつつ、税制も機能を発揮すべき。

### (2) 経済・社会・地域の活力を高める税制

- 経済・社会の活力を高めることと財政健全化は車の両輪。
- 経済活動や社会生活の選択を歪めない中立性を重視。
- 企業の活力の観点から、法人課税のあり方や中小企業の活性化が課題。
- 将来を支える産業・技術を生み育てるための創業支援が重要。
- 地方分権の推進とともに、地方間の税源偏在の是正が必要。

### (3) 国民・納税者の信頼を得る公正な税制

- 各税目を通じ簡素・公平な税制を追求すべき。納税者利便の向上を図るべき。
- 納税者番号制度や罰則のあり方等の議論や、租税教育の充実が必要。

## 各税目の改革等について

### 個人所得課税 — 所得税の再分配機能のあり方の見直し、個人の多様な選択に対する中立性確保。

- 所得税の税率構造について、他の税目の見直しや課税ベースのあり方と合わせた見直し
- 男女共同参画やライフスタイルの多様化を踏まえた配偶者控除、扶養控除等各種控除の見直し
- 就業構造の変化等を踏まえ、給与所得控除の上限がない仕組み等について、勤務費用の実態を反映した見直し
- 退職所得について、多様な就労選択に中立的な課税制度への見直し
- 年金以外に高額な給与を得ている場合、公的年金等控除について、世代間・世代内の公平性の観点から適正化を図ることを考慮
- 財政的支援の集中化等の観点から、高所得者ほど税負担軽減額が大きい所得控除を改組して、税額控除を導入する考え方を考慮
- いわゆる「給付付き税額控除」について、諸外国の事例も参考にしつつ、政策の必要性、既存給付との関係等の課題について議論

### 法人課税 — 経済活性化の観点から、法人課税の国際的動向、税・社会保険料を含む法人負担の実態を踏まえつつ、対応が必要。

- 法人実効税率の引下げについては、厳しい財政事情の下、課税ベースの拡大を含めた対応が必要
- 当面は、研究開発税制をはじめとする政策税制の効果的な活用に重点を置く必要

### 国際課税 — 我が国の適切な課税権の確保と、経済活動に対する配慮や我が国経済の活性化のバランスを保つ必要

- 外国税額控除制度については、諸外国の動向も注視しつつ、我が国企業グループの事業実態にも配慮し、バランスの取れた制度とすべき

### 消費課税 — 消費税は、勤労世代に負担が集中しない等の特徴を有し、社会保障財源の中核を担うにふさわしい。

- 消費税は、勤労者に負担が集中せず、簡素で、経済活動に与える歪みも小さい等の特徴
- 「消費税の社会保障財源化」について、選択肢の一つとして幅広く検討を行うべき
- 消費税は、「所得に対して逆進的」との指摘もあるが、社会保障を含む受益と負担を通じた全体で所得再分配に寄与
- いわゆる軽減税率については、制度の簡素化や事業者の事務負担等を考慮すれば、極力単一税率が望ましい。また、「インボイス方式」の導入が検討課題
- 地方消費税は偏在性が小さく、安定的な税目であり、社会保障について地方の果たす役割も重要

### 資産課税 — 相続税の資産再分配機能の回復等を図るべき。金融所得課税は一体化の方向に沿った取組みが必要。

- 相続税について、世代を超えた格差固定化の防止や生涯における社会からの給付に対する負担の清算といった考え方から、資産再分配機能の回復等を図るとともに、あわせて事業承継税制も検討
- 上場株式等の配当・譲渡益の軽減税率は廃止し、損益通算の範囲拡大を検討
- 土地に係る固定資産税については、引き続き負担水準の均衡化・適正化を促進する必要

### 納税環境整備 — 国民・納税者の信頼向上のために、税制の簡素化・納税者利便の向上を図り、課税の適正化に向けて有効な施策を講じていく必要。

- 電子申告・電子納税の普及に向けた取組み等の推進、資料情報制度の充実、納税者番号制度の導入に向けた具体的取組み、罰則整備の検討、広報・租税教育の充実

## 答申に盛り込まれた事項の実施

本答申に盛り込んだ個々の事項について、平成20年度以降どのようなタイミングで実施に移していくかについては、今後、政府において適切に判断されることを求めたい。